

災害時透析医療対策部会情報ネットワーク

——芸予地震における情報伝達——

武田稔男* 吉田豊彦**

はじめに

2001年3月24日15時28分頃に発生した地震は、震央が安芸灘、震源の深さ51km、規模を示すマグニチュードは6.4（暫定）と発表されました。震度6弱を観測したのは、広島県の河内町、大崎町、熊野町。震度5強も広島県、山口県、愛媛県の3県に及びました。また、3月26日5時41分頃にもマグニチュード5.2（暫定）の余震があり、広島県河内町で震度5強、広島県三原市や山口県岩国市、愛媛県今治市などで震度4を観測しました。

この地震により、27日夜までの消防庁のまとめでは、死者2名、負傷者218名、建物被害は7県で計8,727棟（全壊12戸、半壊48戸、一部損壊8,667戸）が被災されています。ライフラインは断水48,223戸、停電46,514戸、ガスの不通434戸という状況でありましたが、芸予諸島の七町を除いて翌25日夕までには復旧。通信は、広島県内で地震直後に最大で通常の5倍の電話が殺到し、NTT西日本は22時20分まで通話規制。携帯電話は各社とも地震当日の22時ごろまで、かかりにくい状態が続いたようです。

ここで、被災された方々に対し心からお見舞い申し上げます。

日本透析医会災害時透析医療対策部会情報ネットワーク（以下 ネットワーク）では、これら被災地域の施設情報をホームページの情報システムに登録、掲載しました。そこで、芸予地震における情報伝達の経過、情報の流れ、今後への課題について報告します。

1 ネットワークの対応と経過

1) 3月24日

15時28分頃：地震発生

15時45分：ネットワーク本部では、透析中テレビを見ていた患者さんからの通報で地震発生を覚知。

15時55分：メーリングリストとホームページに、

「日本透析医会災害時情報ネットワークからのお知らせ。現在、広島県で大きな災害が発生した模様です。被災された施設の方は、地域の災害時情報中核施設へご連絡下さい。地域災害時中核施設などがない場合は、日本透析医会災害時情報ネットワークホームページをご利用下さい。また、被災されていない施設の方も、支援情報をお送り下さいますようお願い申し上げます」

との文章を発信、掲載しました。

16時13分：鈴木満先生より、「東葛クリニック病院臨床工学技士 江村宗郎氏と連絡をとりながら情報収集するように」との電話を受け、16時15分江村氏と情報収集を行う趣旨確認しました。

16時24分 [メーリングリスト]：ネットワーク副本部の臨床工学技士 森上辰哉氏(元町HDクリニック)より「神戸は震度3。揺れの時間が比較的長かったので、患者さん、スタッフ共々不安が大きかったが、被害はなかった」

16時25分 [メーリングリスト]：鳥取西部地震後、鳥取、島根両県の地域災害時情報ネットワーク作成をお願いした、小田貢先生(米子真誠会医院)から「鳥取県の透析施設に問題が起きる程度の揺れではなかった」との情報が入りはじめました。

16時30分 [電話]：江村氏より、広島県臨床工学技士会の西 宏行氏(因島総合病院 臨床工学技士)からの電話連絡として、「尾道クリニックでは透析続行できている。因島総合病院では、B原液溶解装置で警報が発生したが透析に支障なし」との情報が伝えられ、メーリングリストに送信すると同時に、ネットワークホームページの「災害時情報送信」ページから、本部が代理入力で情報を登録し、加えて「その他の情報」ページへの記載を行いました(資料1)。

これ以後本部で知り得た情報は、代理入力してホームページ集計システムへ登録し、被災状況や支援情報が集計されたかたちで、発信されるようにしました。

16時49分 [メーリングリスト]：広島県ネットワーク委員臨床工学技士黒瀬博史氏(土谷総合病院)より、「約50床ほど透析治療中だったがコンソールに異常なく、セントラルは、一部オーバーフローしたものの、漏電することなく続行できた。瞬時停電もあったが自動復帰で続行できた」。

17時22分 [電話]：江村氏より、西氏からの電話連絡として、「呉市の中央内科クリニックは20分の透析中断あったが現在OK。博愛病院では現在透析中断中で、原因は不明。広島市の大町土谷クリニックと三原市の土肥病院は共に透析に支障なし」。

17時24分 [メーリングリスト]：日本透析医学会総務委員長 兼 危機管理小委員会委員長内藤秀宗先生より、「現在のところ特に被害情報はない」。

17時44分 [メール]：岡山県医師会透析医部会災害対策本部西崎哲一先生(西崎内科医院)より、「15時28分頃発生 of 広島県地震について、岡山県内の透析施設23医療機関より発生後1時間経過時点でいずれも被害なし。隣県の様子は、電話等がつながりにくい状況。現時点で特に情報を得ていない」。(岡山県内の状況は、ネットワーク本部でも、岡山県透析医部会ホームページで随時確認できました)。

18時20分 [電話]：江村氏より、西氏からメーカー(JMS)収集の情報として、「広島県の稲垣胃腸科クリニック、フェニックスクリニック、福馬外科病院、原田病院、興生総合病院、総合病院三愛、サンクリニック東広島、本永病院の各施設において透析に支障はない」。

20時20分 [電話]：江村氏より「山口県のしのはらクリニック、坂本病院、玖珂クリニック、岩国中央

病院、広島県の富吉外科医院、山下医院、尾道市立市民病院、三次地区医療センター、あかね会阿品土谷病院の各施設において透析に支障はない。広島県呉市博愛病院透析不能の原因はRO給水管破損らしい」。

ここまでネットワークが把握できた被災情報は、断水1施設(広島)、RO装置への配管破損1施設(広島)の2施設でしたが、幸いほかの透析施設の被害は少なく、地震発生が土曜日の午後だったため、翌日が日曜日で配管や機器の修理等の対応にも時間に余裕があると考えられました。

この間、震度5強を記録した愛媛県の情報はまったく入りませんでした。そこで、FAXを用いて情報収集することにし、急きょ収集用FAX文書を、ホームページの災害時情報送信のページをもとに作成しました(図1)。手元にあった日本透析医学会施設会員名簿(1997年版)順に、19時30分頃から送信を始めましたが、その1回目の送信から、「現在この方面の電話は大変混み合っており……」とのアナウンスが流れ、まったく送信できませんでした。その後も、30分間隔で送信を試みましたが状況は変わりませんでした。この状況は、内藤先生のところでも同様で、22時16分「愛媛県は当方でもアクセスがとれませんが、別ルートでアクセスします」とのメールをいただきました。

本部では、手作業でのFAX送信をあきらめ、パーソナルFAXソフトに施設名、FAX番号を入力する作業に切替え、接続が可能になるであろう時間に備えました。23時26分最初の送信が可能になると、翌25日0時25分までに、41施設宛て送信のうち37施設への送信に成功しました(4施設で送信できず)。

0時17分[メーリングリスト]：府中腎クリニック杉崎弘章先生より、「愛媛県へのアクセスが難しいようですが、愛媛市内在住の知人と連絡がとれ(携帯電話)、ウイスキーのビンが倒れ、皿が数枚割れた程度の地震だった」との情報も入り、またこれまでのテレビ報道から、愛媛県においては広島県以上の被害拡大はないものと判断して、この日のネットワークの対応を終了しました。

2) 3月25日

8時8分 [FAX]：愛媛県済生会西条病院より「装

社)日本透析医会災害時情報伝達FAX用紙

現在災害に対する情報を収集しています。本FAXをご返送いただくか、下記URLへの情報登録をお願い致します。

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| 報告日時(実際にはコンピュータに登録した時点の日付が入ります) | | |
| 県名をご記入ください | | |
| 施設名 | | |
| 担当者名 | | |
| 被災状況 | 建物、透析装置等 (複数選択可) 該当の口にレ印を付けてください | <input type="checkbox"/> 施設部分破壊 <input type="checkbox"/> 施設半壊 <input type="checkbox"/> 施設全壊 <input type="checkbox"/> 停電 <input type="checkbox"/> 断水 <input type="checkbox"/> ガスの使用不能 <input type="checkbox"/> 透析液供給装置使用不能 <input type="checkbox"/> 末端装置使用不能 <input type="checkbox"/> 個人用装置使用不能 <input type="checkbox"/> 水処理装置使用不能 <input type="checkbox"/> その他の機器被災 |
| 主な不足物品 | ダイアライザ | 人分 |
| | 血液回路 | 人分 |
| | 透析液原液 | 人分 |
| 透析室貸し出し可能 | | 床 |
| 透析受け入れ可能 | 本日 | 人 |
| | 明日 | 人 |
| | 明後日 | 人 |
| 透析要請 | 本日 | 人 |
| | 明日 | 人 |
| | 明後日 | 人 |
| 患者移送手段 ○で囲んでください | | 移送不要 一般車 救急車 警察車両 自衛隊車両 病院車 船舶 移送手段なし |
| ボランティア派遣可能 | 医師 | 人 |
| | 臨床工学技士 | 人 |
| | ナース | 人 |
| その他の不足物品や連絡事項等 (復旧に一番必要な物) | | |

社)日本透析医会災害時情報ネットワーク
 みはま病院ME部 武田総男
 FAX 043-278-4455
 ホームページは <http://www.hf.rim.or.jp/~to-ikai/>

図1 災害時情報伝達用 FAX 用紙

置異常なし。透析受け入れ可能」。

10時55分 [メーリングリスト]: 土谷総合病院透析室より、「当院に入った情報によると昨日の大地震で広中央内科クリニックでは断水が生じたため、現在自衛隊による給水作業が行われている模様」との広島県内施設情報。

11時13分 [メーリングリスト]: 小田先生より、「私が情報収集している eml-c, hotdog, SEML からの透析関係の異常に関する情報は入っていない」との鳥取県周辺の情報。

15時17分 [FAX]: 愛媛県重信クリニックより「被害なし」。

19時33分 (実際に送信されたのは6時6分でメーリングリストサーバー動作の関係で送信されなかったもの) [メール]: 「24日午後10時半現在のCAPDの

患者さんに関し、広島県、山口県、愛媛県、高知県、大分県、北九州市、宮崎県北部の計742名の内721名の方と電話連絡(公衆または携帯電話しか繋がりません)或いは自宅を訪問するなどで安全を確認。残りの21名も25日12時に連絡がとれ、無事」。

以上5件の情報が入りました。前日夜に送ったFAXの返信は2件にとどまりましたが、これは、今回の地震による被害が無く平常どおりの日曜日のため、対応(返送)できる職員が不在によるものと判断しました。なお、FAXを返信していただいた施設にはホームページ上の情報を印刷した後、「現在の状況報告」としてFAX送信しました。

前後しますが、12時には24日にFAX送信できなかった4施設へ再度送信を試みましたが、いずれも

送信不可能であり以後これら施設への送信は行いませんでした。

3) 3月26日

3月26日5時41分頃：地震（余震）発生。

8時54分 [メーリングリスト]：内藤先生より「余震に対して被害はなさそう」。

9時47分 [メーリングリスト]：岡山透析医部会長草野先生より「岡山ではあまり大きな余震ではなかった」。

など、余震に関する情報の他、

11時42分 [メーリングリスト]：申曾洙先生より、呉市の博愛病院で「透析不能の原因はRO給水管破損」との情報に対し、「幸い土曜日だったため、透析終了後1時間くらいのタイミングであり、実際の透析には支障なく、その後、土曜・日曜に大至急の修理も終わり、本日の透析は問題なく順調に行えている」との情報や、愛媛県の住友別子病院、十全総合病院(FAX返信も含む)からのホームページへの情報登録、松山病院、松山市民病院、佐藤循環器内科、町立宇和病院、県立南宇和病院、四国中央病院、村上記念病院の計9施設より24日深夜の送信FAXに対する返信が寄せられました。また、高知県透析医会による21施設のほか、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛各県の透析医会支部長および事務局収集の情報も伝えられまし

た。

いずれも被災による透析不能(透析要請)情報はなく、ネットワークではホームページへの情報更新業務のみを行いました。

20時 [メーリングリスト]：兵庫県腎友会経由の、広島県腎友会情報として「広島県腎友協で調査結果、1. 現在のところ会員の一部に家が破損したほか特に被害はない。2. ライフラインは昨夜のうちに回復した。3. 透析は本日各施設で平常どおり実施されている」が申先生より伝達されました。

4) 3月27日

24日深夜に送信したFAXに対する返信が新たに2施設ありました。

2 ネットワーク情報システムによる集計結果

今回の地震での情報の流れを図2に示します。

3月27日現在におけるホームページネットワーク情報システムへの情報登録施設は43件でした(資料2)。このうち、広中央内科クリニックと中央内科クリニックは同一施設と考えられますので、実際には42施設となります。

ネットワーク本部が代理入力というかたちで登録したものが40件、直接施設から登録されたものは2件でした。この2件は、愛媛県各施設に送ったFAX文

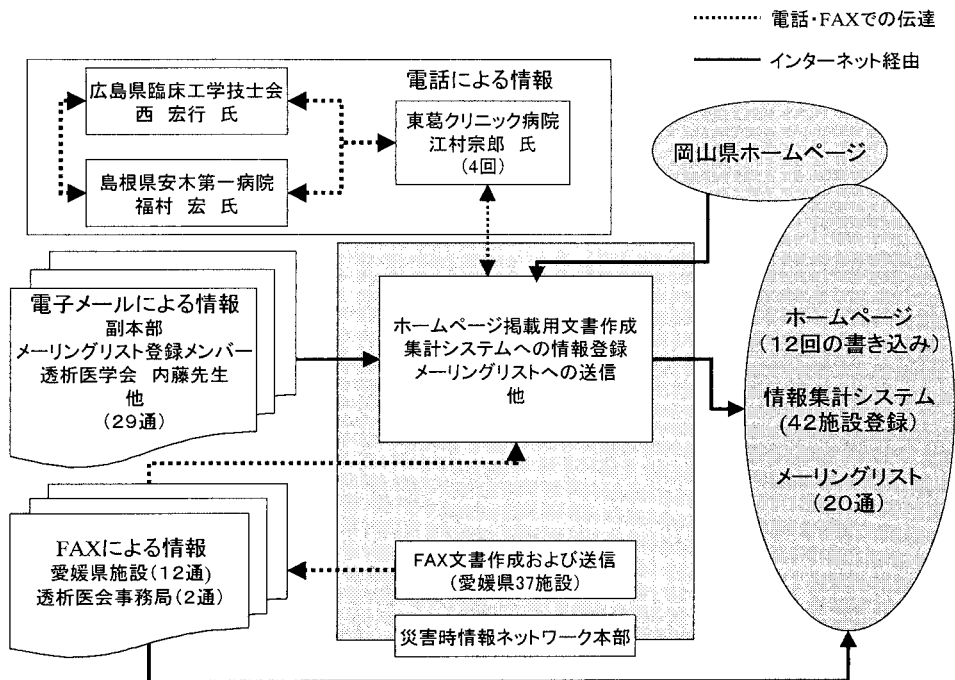


図2 芸予地震での情報の流れ

書に記載しておいたホームページの URL を参照して、直接登録していただいたものでした。

被災状況では、愛媛県で施設部分破損が 2 施設のみとなっているなど、登録された詳細な情報はほとんどが愛媛県の施設のものでした。これは、愛媛県の施設情報がホームページの情報伝達フォームに準じた FAX 文書から得られたものなのに対し、広島県を含むほかの地域の情報が、電話により伝えられた透析施行上の支障の有無のみを登録したことによります。施設が被災していない情報ではありません。したがってここに示した集計結果から、今回の芸予地震による施設被害状況をまとめるのは不適切ですし、意味がありません。

幸いにも透析実施不能となる施設はなく、透析要請数はありませんでしたが、透析受入れ可能は、26 日 41 人、27 日 46 人、28 日 59 人、29 日 11 人、透析室貸出し可能床数は 19 床でした。被災地周辺からこのような情報が登録されたことは大変意義のあることで、ネットワークをより広く周知していただくことの重要性が再確認されました。

3 地震直後の情報収集と伝達についての教訓

前述したように、今回の地震では発生直後からいち早く情報をいただきました。これは、西氏、島根県安木第一病院の福村氏、江村氏、および西氏らとともに情報収集をされたメーカーの方々の協力があったものでした。

後日、地震発生直後の情報収集・伝達の過程について電子メールをいただきましたので、抜粋して以下に示します。

福村氏は鳥取西部地震の経験から以下の内容を送って下さいました。

「情報収集の方法（参考になるかどうかわかりません）

- 誰よりも早く電話をかけることです。
- しつこく電話をかけることです。
- 当院は透析室にダイレクトの ISDN 回線があり、原因はわかりませんがその電話はよくつながります。
- 電話がつながったら、必ず情報提供をお願いし、わかり次第連絡してもらおう。

- メーカーと代理店にも電話し、情報提供をしてもらおう（この力は重要）。

- 都会は無理だが、田舎だと代理店が車で情報を集めて来ます。

- 鳥取県西部地震の時のメモとして
情報の発信、収集

松江、安来、米子と災害にあった地域では電話（携帯、インターネットも含む）がまったくと言っていいほど不通になり情報の入手が困難になりましたが、今回透析医会（東京）、東葛クリニック病院（松戸）には簡単にアクセスが可能であり、今回の現地の情報を送り続け、また分からなかった情報に関しても入手することができました。

この経験から、災害発生直後は現地での情報収集は不可能であり、現地での情報のやり取りは時間がある程度、日時が経過してから行うこととし、災害発生直後の情報はたとえば今回の場合、大阪、福岡、名古屋あたりに情報をまとめる施設を、何処かにお願いしたほうが有効かと思いました。インターネットのプロバイダーについても遠隔地にアクセスポイントを設けることが重要かと思いました。」

以上の教訓から今回の地震では知り合いの西氏に連絡しました。西氏からは以下のメールを送っていただきました。

「地震の後、透析に被害もなく、患者さんも落ち着いておられたため、技士会として何かをしなくてはと、頭がパニックになっていたとき、福村さんより電話があり、広島県の透析施設に被害状況を聞けと言われました。

そして、安来第一病院が中継点になるとの電話を頂き、以前災害時は、公衆電話が一番繋がることを思い出し、同フロアの公衆電話よりまず広島市内に電話し、停電にならなかったため、TV で地震情報を見て、震源地に近い呉や震度の強いところより電話をしました。

また、透析メーカーに電話を入れ、被害状況を聞こうとしましたが、2 社のみ連絡がつき、協力を依頼しました。

一人では、5:00 過ぎにはある程度情報をつかむことができましたが、広島県の災害対策が検討中で、稼働できなかったことが残念です。

災害地から災害地内への電話はかかりにくく、他

から災害地へもかかりにくいですが、災害地から他県へは、割とかかりやすいように感じました。

ですから、近くの他県に情報を集め、そこより一括して情報を送ると言う措置を今回はとりました。

今ごろになり、災害の爪あとが目立ち、地震の大きさに驚き、被害、特に人への被害の少なさに驚いています。今回は、地震が起こり、数秒で揺れが激しくなり、縦揺れも入り、ベッドの柵につかまっているのがやっとでした。落下物の音などはまったく聞こえず、地震後棚より、本や書類がほとんど落ち、ダイアライザも箱ごと落下してました。]

平時にしておくべきこと、被災後にするべきことの教訓として重要と思います。災害時情報および大変貴重な体験記をいただいたお二人に改めて謝意を表します。

4 今後への課題

① ネットワーク認知度

当ネットワークの認知度はまだまだ低く、今回の地震においても自ら直接データ入力をしていただいた施設は少数でありました。しかし、被災地から多くの情報を得ることができたため、本部代理入力というかたちでインターネット上へ情報伝達することができました。鳥取西部地震以後わずかではありますがメーリングリストのメンバーも増えています。これを機にさらに当ネットワークの認知度を上げる必要があります。

② 施設情報データベース

地域情報ネットワークがない、または当ネットワークが知られていない地域からの情報収集や集計結果伝達の手段には、やはり FAX を用いるほかはないものと考えます。被災直後の大変な所への電話はよほど気心が知れた友人でもない限りなかなかできるものではありません。電話が輻輳するのは承知の上で FAX を送ることになります。しかし、いつつながり始めるかわからない FAX 送信を手で行うのは人員と時間の無駄になります。今回は手動送信を途中であきらめ、パーソナル FAX ソフトを用いた送信を行いました。FAX ソフトは次々と自動で送信を試みてつながるところから送信してくれました。このとき感じたのは、施設情報データベースの必要性でした。プロ仕様の FAX ソフトに施設情報データベースが連動すれば、

この FAX 送信作業が簡便になるばかりでなく、地図ソフトとの連動による地理的判断、施設名確認や患者さんの移動数予測作業などが迅速になる可能性があります。日本透析医学会の施設会員名簿や日本透析医会会員名簿が電子化されているとしたら、是非利用させていただきたいと思いました。

③ サーバー動作の安定性

情報交換の主な手段としてメーリングリストを使用していましたが、2 通のメールにおいて文書内容が抜けたまま送信されるというトラブルが発生しました。平時に使用しているときにこのようなことは無く、メーリングリストプログラムが動作しているプロバイダーのサーバー動作が不安定な状態にあったのではないかと推測されました。

ネットワークでは、これらのシステムを本部と副本部で別々のプロバイダーと契約しており、一方が不安定な場合は他方を使用することで対処することになっています。当ネットワークも情報伝達経路の中の 1 つであり、すべてにはなりえないことが再認識されました。

おわりに

繰り返しになりますが、今回の地震では幸いにも透析実施不能となる施設はなく、透析要請数はありませんでした。しかし、あってはならないことなのですが、いつあの阪神淡路大震災クラス以上の災害が発生するとも限りません。そのような中で、被災地周辺から「透析受入れ可能、透析室貸出し可能」の情報が登録されたことは大変意義のあることで、ネットワークをより広く周知していただくことの重要性が再確認されました。

ネットワークの情報伝達システムは完璧なものではありませんが、活用できるレベルにはあると自負しています。また、完璧なものを求めていたら災害対策は前進しません。

昨年からの火山噴火、水害、震度 5 を超える災害が頻発しています。幸い多大な人的被害はありませんでしたが、患者さんにとっては避難所からの通院や、他施設での透析を余儀なくされる災害が発生しています。各地域の災害時対策策定、情報伝達システムの構築へさらなる前進をお願いいたします。

ネットワークメーリングリスト登録のお願い

メールアドレスをお持ちの先生は、ネットワークのメーリングリストに御参加ください。都道府県名、施設名、ご芳名、ご職位（医師・臨床工学技士など）をご記入の上 to-ikai@hf.rim.or.jp あてにお願いいたします。メールを確認後、登録させていただきます。

日本透析医会災害時情報ネットワーク本部 E-mail
to-ikai@hf.rim.or.jp

日本透析医会災害時情報伝達ホームページ

<http://www.hf.rim.or.jp/~to-ikai/>

日本透析医会災害時情報伝達副本部ホームページ

<http://www4.osk.3web.ne.jp/~touseki/>

資料 1

ネットワークホームページ「その他の情報」のページ全文

2001年 3月 27日 11:35

兵庫県腎友会からのメールで、広島県腎友会から聞いた情報が入りました。

広島県腎友協で調査したところ

1. 現在のところ会員の一部に家が破損したほか特に被害はない。
2. ライフラインは昨夜のうちに回復した。
3. 透析は本日各施設で平常どおり実施されている。とのことでしたので報告いたします。

2001. 3. 26

特定非営利活動法人

兵庫県腎友会

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 5-4-5

中尾ビル 2階

電話 078-371-4382

FAX 078-371-8840

フリーダイヤル 0120-516-222

E-mail CQW01651@nifty.ne.jp

URL <http://homepage2.nifty.com/npohyojin/>

2001年 3月 26日 17:15

3月24日地震についての災害調査（高知県）

* 調査施設：21 施設

1. 透析中でしたか?

透析中：7

なし：14

2. 揺れはどの程度でしたか?

機械がズレた：4

原液がこぼれた：2

特に問題なし：15

3. ライフラインは大丈夫でしたか?

断水：0

停電：0

通信不通（一時的）：5

医療ガス停止（一時的）：1

問題なし：15

4. 建物に損壊した箇所がありましたか?

天井板のハガレ：1

高架水槽配管亀裂：1

なし：19

5. 透析室で壊れた機械がありましたか?

なし：21

6. 患者、スタッフだけが人はでましたか?

なし：21

2001年 3月 26日 11:56

広島県呉市の博愛病院

今日月曜日の透析は問題なく順調に行えている。

2001年 3月 25日 22:31

CAPD 患者さんの情報です。

対象患者数：広島県、山口県、愛媛県、高知県の患者さん 542名

大分県、北九州市、宮崎県北部の患者さん 200名

計 742名

25日 日曜日 12時までに 全員に連絡がとれ、無事でした。

2001年 3月 25日 12:17

鳥取県では現在被災施設なし。

2001年 3月 25日 11:03

昨日の大地震で広中央内科クリニックでは断水が生じたため、現在自衛隊による給水作業が行われている模様

様です。

西崎内科医院

西崎哲一

2001年 3月 24日 20:39

山口県

しのはらクリニック

坂本病院

玖珂クリニック

岩国中央病院

広島県

富吉外科医院

山下医院

尾道市立市民病院

三次地区医療センター

あかね会阿品土谷病院

以上の各施設において透析に支障はないとのことです。

2001年 3月 24日 18:44

稲垣胃腸科クリニック

フェニックスクリニック

福馬外科病院

原田病院

興生総合病院

総合病院三愛

サンクリニック東広島

本永病院

以上の各施設において透析に支障はないとのことです。

2001年 3月 24日 17:22

広島県臨床工学技士会（西さん）からの情報です。

呉市：中央内科クリニック 20分の透析中断あったが現在OK。

：博愛病院 現在透析中断中 原因不明。

広島市：大町土谷クリニック 透析に支障なし。

三原市：土肥病院 透析に支障なし。

2001年 3月 24日 17:04

15時28分頃発生 of 広島県地震について、岡山県内の透析施設23医療機関より発生後1時間経過時点で、いずれも被害なしとの連絡が有りました。

隣県の様子は、電話等がつながりにくい状況で、現時点で特に情報を得ていません。

岡山県医師会透析医部会 災害対策本部

2001年 3月 24日 16:53

広島県：土谷総合病院 CE 黒瀬さんからのメール情報です。

先ほどの地震時、約50床ほど透析治療中でしたが、コンソールに異常はありませんでした。

セントラルは、一部オーバーフローしましたが、漏電することなく続行できました。瞬時停電はありましたが、自動復帰で続行できました。

2001年 3月 24日 16:30

広島県臨床工学技士会（西さん）からの情報です。

尾道クリニックでは透析続行できているそうです。

因島総合病院 CE 西さんによると、B原液溶解装置で警報が発生したが、透析に支障なしとのことです。

資料 2

ネットワーク情報システムによる集計結果

(3月27日現在)

1. 被災状況

[広島県]

断水 1施設 * 広中央内科クリニック

[愛媛県]

施設部分破損 2施設 * 済生会松山病院 * 松山市民病院

[被災状況合計]

施設部分破損 2施設

断水 1施設

2. 主な不足物品（人分）

[主な不足物品（人数分）合計]

ダイアライザ=0 血液回路=0 透析液原液=0

3. 透析室貸出し可能

[愛媛県]

透析室貸出し可能：床数小計=19 * 岩崎内科：

10 * 村上記念病院：5 * 県立南宇和病院：4

透析室貸出し可能床数合計=19

4. 透析受入れ可能

[愛媛県]

・2001年03月26日透析受入れ可能小計=41

県立南宇和病院：4人 済生会松山病院：10人
 佐藤循環器内科：20人 済生会西条病院：7人

- 2001年03月27日透析受入れ可能小計=46
 済生会今治病院：1人 岩崎内科：10人 村上記念病院：5人 県立南宇和病院：4人 済生会松山病院：10人 佐藤循環器内科：10人 済生会西条病院：6人
- 2001年03月28日透析受入れ可能小計=59
 済生会今治病院：10人 岩崎内科：10人 村上記念病院：5人 県立南宇和病院：4人 済生会松山病院：10人 佐藤循環器内科：20人
- 2001年03月29日透析受入れ可能小計=11
 済生会今治病院：1人 岩崎内科：10人

[透析受入れ可能合計]

2001年03月26日 = 41人
 2001年03月27日 = 46人
 2001年03月28日 = 59人
 2001年03月29日 = 11人

5. 透析要請

なし

6. 患者移送手段

[愛媛県]

移送不要 2施設 *十全総合病院 *松山市民病院
 一般車 1施設 *岩崎内科
 救急車 1施設 *済生会西条病院
 移送手段なし 1施設 *済生会松山病院

[患者移送手段合計]

移送不要：2施設
 一般車：1施設
 救急車：1施設
 移送手段なし：1施設

7. ボランティア派遣可能

ボランティア派遣可能合計

医師=0 臨床工学技士=0 ナース=0

8. その他不足物品や連絡事項等

[広島県]

博愛病院：現在透析に支障なし
 広中央内科クリニック：現在自衛隊による給水作業が行われている模様。
 あかね会阿品土谷病院：透析に支障なし
 三次地区医療センター：透析に支障なし
 尾道市立市民病院：透析に支障なし

山下医院：透析に支障なし
 富吉外科医院：透析に支障なし
 稲垣胃腸科クリニック：透析に支障なし
 本永病院：透析に支障なし
 総合病院三愛：透析に支障なし
 サンクリニック東広島：透析に支障なし
 興生総合病院：透析に支障なし
 原田病院：透析に支障なし
 福馬外科病院：透析に支障なし
 フェニックスクリニック：透析に支障なし
 土谷総合病院：先ほどの地震時、約50床ほど透析治療中でしたが、コンソールに異常はありませんでした。セントラルは、一部オーバーフローしましたが、漏電することなく続行できました。瞬時停電はありましたが、自動復帰で続行できました。
 土肥病院：透析に支障なし
 あかね会大町土谷クリニック：透析に支障なし
 中央内科クリニック：20分の透析中断あり。現在は透析できている。

因島総合病院：透析支障なし

尾道クリニック：透析支障なし

[山口県]

前田内科病院：透析操作に支障なし
 岩国中央病院：透析に支障なし
 玖珂クリニック：透析に支障なし
 坂本病院：透析に支障なし
 しのはらクリニック：透析に支障なし

[徳島県]

川島病院：透析操作に支障なし、特に被害の連絡はない。

[香川県]

三豊総合病院：透析操作に支障なし

[愛媛県]

岩崎内科：特になし。コップや花ビンが割れ、段ボール箱が崩れましたが被害は少
 住友別子病院：透析に支障なし
 南松山病院：透析操作に支障なし
 県立南宇和病院：なし
 十全総合病院：被災無し、平常に稼動しております
 町立宇和病院：今回の地震に関し問題ありませんでした。
 済生会松山病院：特になし

松山市民病院：特になし

佐藤循環器内科：通常の透析ができます。

重信クリニック：特に被害はありませんでした。

済生会西条病院：装置異常ないため必要なし。

[高知県]

近森病院分室：CAPD に支障なし。現在再度連絡
待ち。